

# 令和7年度 指導者研修（重点項目確認）

## 1. 大会規約並びに取り決め事項（以下 大会規約という）の主な改正

### ① 指導者資格の義務化（ベンチ入り指導者1名は保有していること）

対象資格

JSBB 公認学童コーチ

JSPO 公認コーチ1（軟式野球）

JSPO 公認コーチ3（軟式野球）

JSPO 公認スタートコーチ（スポーツ少年団）

JSPO 公認コーチングアシスタント

\*旧スポーツ少年団定員から以降登録完了した者

BFJ 公認野球指導者基礎1（U12）

全日本軟式野球連盟

大会規約5条（2）

今季から参加申込書兼登録原簿に「指導者資格番号」の記入を義務付け

### ② 大会規約第8条（6）③

（シートノック）

シートノックはユニフォーム着用の指導者が行い、グラウンド内ではユニフォーム着用の指導者に限り選手の練習相手をすることができる。

コーチ1人のブルペン捕手を許可する（マスクを着用すること）ただし試合開始前挨拶までとする。

### ③ 大会規約第8条（9）②-2

（その他注意事項、申し合わせ事項）

フェンスライン外での練習は禁止とする。

但し、会場によっては練習場を設けている場合などはこの項目は適用しない。

大会規約第8条（9）②-3

「試合が開始されれば指導者であっても練習相手をしてはならない」

### ④ 大会規約第10条（5）

（競技規則、競技に関する取り決め事項）

試合の成立は A級5回、B級4回、C級は3回終了をもって成立する。

## 2. スピード化マナーに関する事項、プレイに関する事項等

- 遅延行為とみなされる投手の牽制球はさせないように指導  
(度が過ぎると審判員が判断したら、遅延行為)
- 返球を受けた投手は、速やかに投手板に着き投球動作に入る指導
- 投手は投手板に着いてサインを見ることを徹底指導
- 監督、捕手のサインは複雑なものは無くし進行が遅れることのないように徹底
- 攻撃側の第一打者、コーチャーは攻守交代時に行われるミーティングに入らず速やかに所定の位置に着くように指導の徹底を図ってほしい  
(今季のグッドマナー採点に入れています)
- 打者はサインを見るときは必ず打者席内で見ると指導の徹底、またサインの簡素化をお願いしたい
- 内野手がアドバイスなどでマウンドへ近づかないよう指導してください。
- 攻守交代時最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることを練習試合等でも指導してください。
- 第2試合以降は、前の試合終了した後20分を目安に、継続して行う場合は30分を目安に次の試合を開始する。(競技者必携・大会規約)

今季はこのあたりを徹底してください。審判部にもこうしたことを指導者研修会でお願いしたむね伝えます。

## 3. 注意すべき規則、試合中の禁止事項

- ① スリーフットレーン 野球規則 5-09 (a) 11  
一塁に対する守備が行われているときのルール  
一塁への送球を捕らえようとする野手の動作を妨げたと審判員が認めた場合、ボールデッドとなる  
原注 スリーフットレーンを示すラインはそのレーンの一部であり、打者走者は両足をスリーフットレーンの中もしくはスリーフットレーンのライン上に置かなければならない。
- ② 正しいスライディング 野球規則 6-01 j
- ③ 危険防止 (ラフプレイ禁止) ルール 6-01i (1)
- ④ アピールの場所と時期 野球規則 5-09 c (1) (2)
- ⑤ 打撃妨害と監督の選択権

審判は選択権についてわざわざは言わないので注意（ジェスチャー 左手の甲をたたく）

⑥ 抗議権を有する者

当該プレーヤーか当該プレーヤーと監督のいずれかとする（県軟連学童部）  
（必携：当該プレーヤーか監督いずれか1名）

⑦ 試合の挨拶

試合前後の本塁整列の挨拶がすべてである。（応援団への挨拶は奨励）  
試合終了後の大会本部、相手チームへの挨拶は不要

⑧ 学童用のバットの使用制限

令和5年12月20日 全軟連366-3号通達  
2025年より学童部では、一般用のバットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材弾性体を取り付けたバットの使用を禁止。少年用バットの使用制限は行いません。ご注意ください。

⑨ グラブのはみ出し紐

小指程度としそれ以上長い場合は切るまたはグラブを替えること（県軟連学童）  
当支部も同様とする。

⑩ 捕手用マスクのSG基準義務化

令和5年12月25日 全軟連371-1号通達  
義務付け緩和の終了について  
2024年の猶予期間をもって特例措置を終了し、2025年から義務付けを行う。